



～ウェブ発信で誕生したまったく新しい写真集～
ウェブ上の写真集が紙とインクで生まれ変わった。
写真の新たな地平へー

第一回littlemoreBCCKS写真集公募展 大賞受賞作品
永井祐介『varnish and mortar』

本日より一部書店ほかにて先行発売
のお知らせ

株式会社BCCKS（ブックス）[本社：東京都品川区代表取締役山本祐子]は、株式会社リトルモア
[本社：東京都東京都渋谷区／代表取締役：孫家邦]と共催で、Webメディアを利用した新しい形式
による写真公募展として昨年実施した“第1回littlemoreBCCKS写真集公募展”の大賞作品、永井祐介
『varnish and mortar』が、本日より一部書店にて先行発売されたことをお知らせします。

2008年8月8日～10月27日に開催された「第1回 littlemoreBCCKS写真集公募展」。
ウェブ上で写真集を編集するという、かつてない形式の公募展として話題を呼び、1回目でありながら、
応募総数は600作品を超えました。また、第一線で活躍している豪華な審査員（葛西薫、中島英樹、服
部一成、宇壽山貴久子、梅佳代、大森克己、瀧本幹也、松本弦人）による最終審査は4時間以上におよ
びました。そして、審査の末、大賞に挙げられたのは永井祐介氏の『varnish and mortar』。その作品が、
第一回審査員の葛西薫氏のデザインにより、二次元から三次元の写真集に生まれ変わり、本日、一部書
店にて先行発売されます。（10月下旬より全国書店にて発売）

それぞれのページは、著者自らの手により、アルバムのように
に写真が貼り付けられ、余白には布の切れ端や、紙のモチー
フがコラージュされており、著者の独創的な世界観が楽しめる、
ウェブ上のものとはひと味もふた味も違った、美しい
「本」になりました。第一線で活躍するクリエイター達に
よって選ばれた、ウェブ発信で誕生したまったく新しい写
真集、まさに写真の「今」を感じさせる一冊です。

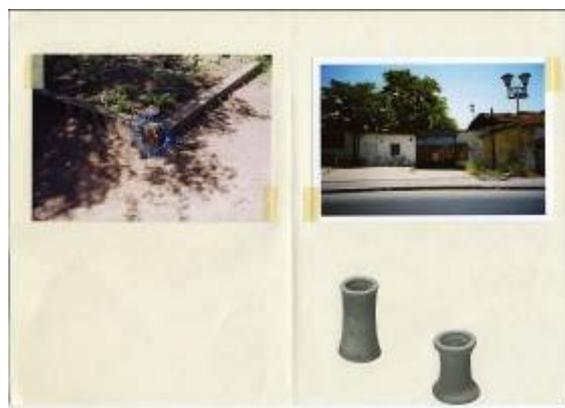
BCCKSでは、今後も新たな才能を発掘・支援していくさま
ざまな企画を計画しており、現在も昨年に引き続き「第二回
littlemoreBCCKS写真集公募展 (<http://littlemore.bccks.jp>)
を実施中で、応募作品を受付けています（10月26日まで）。



『varnish and mortar』
デザイン：葛西薫
仕様：B5変形／並製／60ページ
定価：2800円（税別）
発売：▽2009年10月15日
リトルモアウェブ、
青山ブックセンター本店・六本本店、
恵比寿・ナディフにて先行発売
▽2009年10月下旬より
全国書店にて発売

『varnish and mortar』写真集発売記念写真展
11/14（土）～11/25（水）Vacant（原宿）
1Fスペースにて開催
<http://www.n0idea.com/vacant/>

永井祐介（ながいゆうすけ）プロフィール
1985年生まれ。東京在住、中学の頃より、趣味で写真を撮り始める。
本作は2004～2007年ロンドン滞在中に撮りためた写真を中心にまとめた。





■審査員選評

葛西薫／デザイナー

「カメラの目が澄んでいると思った。あたりまえのことだが、この風景の前に作者が立って、カメラで切り取ったわけで、このように眼前を捉えてしまう感受性に嫉妬をおぼえた。

中島英樹／デザイナー

「だから、何度も言っているんだよ、答えなんてないんだから。」
我々の世界は、まさしくそうだと思う。しかし、カメラは、客観だ。ことばは、作者の意思だ。

大森克己／デザイナー

空間をやわらかいまま、つかまえてるのがすごくいい。BCCKSというフォーマットを自分のなかですごくレベルの高いところで消化して、解体&再構築している、つまり一見「BCCKSっぽくない」。それってすごいことですよ。

宇壽山貴久子／写真家

始まりも終わりも無く、どの場所も匿名的であり、両面表で両面裏ともいえる。その分からなさ故に、本として形になったときのことをうっすらと想像したら、マザーグースのような奇妙で美しいモノが出来上がるかも。

瀧本幹也／写真家

光をかなり意識的に捉えた作品だと思いました。そうすることで写真として写り込みやすい闇の部分の巧みに取り込み、しっかりとした構図によって完成度の高い作品になっています。

梅佳代／写真家

大賞おめでとうございます。ずっと見ると、きみような感じがします。

服部一成／写真家

審査のあいだ、気持ちはいろいろ動く。良さに気づくもの、色あせてくるもの。それは審査する目の不確かさのせいでもあるが、やっぱり作品のせいでもあるのだ。グランプリ作品は、まわりの浮き沈みをよそに、ジーンと静かにゆったり光っていた。

松本弦人／デザイナー

久しぶりに「うまいな～」と思った。写真に「うまいな～」は褒めコトバじゃない場合が多いんだけど、褒めてます。空間認識力が高い系のうまさですね。



■株式会社リトルモア 本社所在地：東京都渋谷区／代表取締役：孫 家邦

写真集、画集、文芸書、実用書、エッセイ集、デザイン書等の出版を中心に、映画製作、展覧会・劇場スペースの運営などにおいて独自の視点で作品を送り出し、カルチャーの第一線をつくりつづける。

【主な写真集】

『Mt.FUJI』石川直樹、『at Home』上田義彦、『うめめ』『じいちゃんさま』梅佳代、『Cherryblossoms』大森克己、『うたたね』川内倫子、『煙影』高橋恭司、『SIGHTSEEING』瀧本幹也、『TOKYO NOBODY』中野正貴、『夜間飛行』野村佐紀子、『スモールプラネット』本城直季、『若き日本人の肖像』吉永マサユキ、『young tree』若木信吾

【その他の主な出版物】

『井上嗣也作品集』、『板尾日記』板尾創路、『部分』大竹伸朗、『Vegebook』カフェエイト、『幸せな王子』絵：清川あさみ、『間取りの手帖』佐藤和歌子、『ドロップ』品川ヒロシ、『UKIYO』奈良美智、『アクロバット前夜90°』福永信、『ブローチ』渡邊良重、『ぼくは猟師になった』千松信也

【雑誌】

『真夜中』：文芸、写真、絵、デザインと、ジャンルにとらわれず表現する、2008年4月22日創刊の新雑誌。

現代を彩る様々な作家たちが参加。

『snoozer』：洋楽と邦楽の差別なく、ロックに限らず幅広くカルチャーを独自の視点で伝える音楽雑誌。

音楽ライターの中宗一郎責任編集。

【主な映画】

『空中庭園』：製作・配給／監督：豊田利晃、原作：角田光代、出演：小泉今日子、板尾創路、大楠道代

『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』：

製作/監督：松岡錠司、原作：リリー・フランキー、脚本：松尾スズキ

出演：オダギリジョー、樹木希林、松たか子、小林薫

『ジャーマン+雨』：配給／監督・脚本：横浜聡子

『フレフレ少女』：製作／監督：渡辺謙作、主演：新垣結衣

『ウルトラミラクルラブストーリー』：製作・配給／監督・脚本：横浜聡子、出演：松山ケンイチ、麻生久美子

関連サイト：<http://www.littlemore.co.jp/>

■BCKKS 本社所在地：東京都品川区／代表取締役：山本祐子

webの「本」を作ることができる新コンセプトのCGM (Consumer Generated Media) サービスサイト。

用意されている様々な書籍や雑誌のテンプレートを使って、web上に「雑誌」や「写真集」「日記」といった「本」のようなメディア（ブック）を、誰でも簡単に作ることができる。デザイナー松本弦人が、コンセプトデザインおよびアートディレクションを手掛け、さまざまな経歴や経験を持ったメンバーが集まり、「編集」「デザイン」を切り口にこれまでにない新しいwebの可能性を追求。webの上に「もうひとつの本の形=BCKKS」を提案していく。

株式会社BCKKS（ボックス）<2007年7月設立>により、2007年8月にプレサイトをオープン、2008年2月28日からオープンテストを開始。その後、デザイン、写真、イラストなど各界で活躍中の方々から一般の方々まで参加いただきながら、本の雑誌「ダ・ヴィンチ」、モリサワとの共催による「字組広告公募展」、映画「色即せねれいしょん」とのコラボ企画など、様々な企業や出版社、団体との企画を展開中。

関連サイト：<http://bckks.jp/>

<http://davinci.bckks.jp/>

<http://jugumi.bckks.jp/>

<http://bckks.jp/center/shikisoku>

<http://bckks.jp/center/eatrip>



↑ BCKKS HOME (トップページ)

